

# 風水害を知る

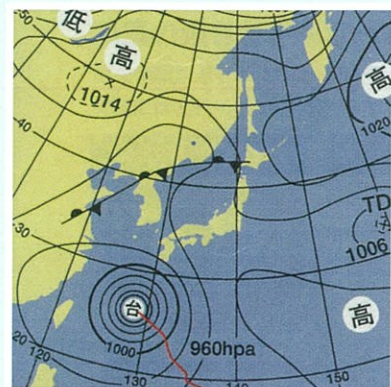
## 風水害の発生原因

全国で初めてとなる大雨特別警報が発表された平成25年台風第18号では、各地で記録的な大雨となり、大きな被害が発生しました。亀岡市内でも、住家 370 棟が床上・床下浸水の被害を受けJR亀岡駅の線路が冠水するなどの被害が発生しました。

### 大雨発生の原因

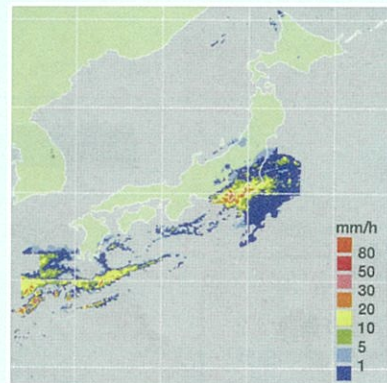
#### 台風

台風は積乱雲（入道雲）が集まったもので、雨を広い範囲に長時間にわたって降らせます。また、台風の外側の 200 km から 600 km 辺りにも帯状の降雨帯があるため、断続的に激しい雨が降ったり、台風の活動が活発となり大雨となったりします。



#### 集中豪雨

夏場などの地上が暖かく、上空の冷えた大気との温度差が大きくなると、同じ場所で積乱雲が発生しやすくなり、集中豪雨につながります。今後、地球温暖化が進行した場合、大雨の発生件数はさらに増加するとの予測もあり、水害や土砂災害への備えが一層重要になります。



防災知識

### 気象情報と注意報・警報はどう違うの？

気象情報は、注意報・警報に先だって注意を呼びかけたり、注意報・警報の内容を補完するために発表されます。

注意報・警報は、大雨等で気象災害が起こる恐れがあるとき、予想される現象の程度に応じて、各地の気象台より発表されます。なお、注意報・警報は地理的に気象が与える影響が異なるために、各地で発表基準を定めています。

### 特別警報！！

特別警報は、これまでの警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まった場合に発表されます。特別警報の発表される地域は数十年に一度の非常に危険な状況にあります。周囲の状況や防災関係機関が発表する情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。また、特別警報の発表がなくても、段階的に発表される気象情報に注意し、早めの行動を心がけることが大切です。

## 台風

### 台風を知る

台風シーズンになると、台風がもたらす大雨や強風により、日本各地は大きな被害を受けます。気象情報に注意して、台風が近づいたら外出を控えるなど、被害を未然に防ぎましょう。

#### 台風の風と被害

歩くこともままならないような、強い風がもたらす被害が台風の特徴です。亀岡市では、台風が西側を進むと「風台風」となり、強風に対する注意が必要です。屋外での作業は、台風が接近する前に済ませましょう。

### 台風の風と被害

気象情報などで耳にする「風速」。実際にはどれくらいの強さなのか、身近な例で見してみよう。

平均風速（毎秒）	影響
10~15m やや強い風	風に向かって歩きにくい 傘が差せない 看板やトタン板が飛ば
15~20m 強い風	風に向かって歩くことができない 小枝が折れる 高速道路での運転は困難
20~25m 非常に強い風	しっかり体を確保しないと転倒する 車の運転は危険 風で飛ばされたもので窓ガラスが割れる
25~30m 非常に強い風	立ってられない 樹木が倒れ、ブロック塀が壊れる 屋外での行動は危険
30m~ 猛烈な風	屋根が飛ばされたり、 木造住宅の全壊が始まる



防災知識

### 台風の大きさと強さ

広い範囲で暴風雨を伴う台風は、風の強さ、暴風の吹いている範囲の大きさなどで区別されます。

#### 台風の大きさ

階級	風速15m/秒以上の半径
大型 (大きい)	500km以上800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

※気象庁ホームページから

#### 台風の強さ

階級	最大風速
強い	33m/秒以上~44m/秒未満
非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満
猛烈な	54m/秒以上

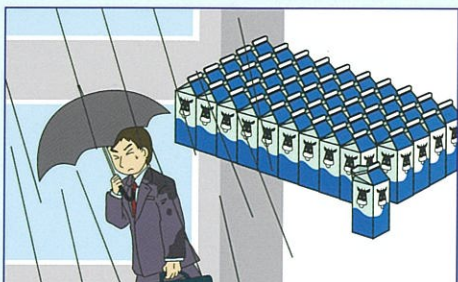
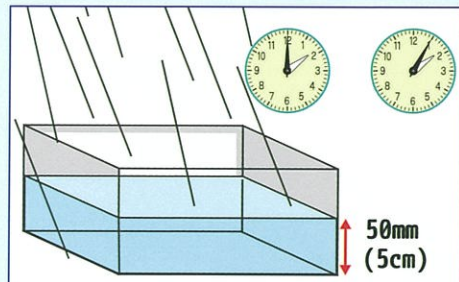
※気象庁ホームページから

# 雨の降り方

## 1時間に50ミリの雨ってどんな雨？



1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。



「1時間に50ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れずにそのまま留まる状態で、「1時間に雨水が50ミリメートルの高さまでたまる」規模の雨です。

「たった50ミリ」と思われるかもしれませんが、1平方メートル当たり50リットルになります。傘を開いたときの面積がおおむね1平方メートルなので、1時間傘を差していると、傘には牛乳パック50本分の雨が当たることになります。

短時間に狭い範囲で激しく降った大雨により、降り始めからわずか十分程度で中小河川が増水したり、低地や道路のアンダーパス(線路や道路をくぐる地下部分)が冠水し、災害が発生することがあります。また、川の上流で降った大雨により急に増水し、大雨が降っていない下流で水難事故が発生することがあります。

※気象庁ホームページから

1時間雨量(ミリ)	雨の強さ(予報用語)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて	災害発生状況
10 ～ 20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に水たまりができる。		この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 
20 ～ 30	強い雨	どしゃ降り。	傘を差していてもぬれる。			ワイパーを速くしても見づらい。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30 ～ 50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。			道路が川のようになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり危険地域では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50 ～ 80	激しい非常に	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。 	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80 ～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。					雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

# 注意報, 警報, 特別警報

気象庁は、大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」を、さらに、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」を発表して注意や警戒を呼びかけます。普段からの備えと早め早めの行動が、あなたや身近な人の命を守ります。

普段から… 大雨になるおそれ 雨が降り出す

気象情報・空の変化に注意

ポイント  
避難ルートや非常持出品の確認などの備えは大丈夫？

- ・周りより低い場所など、危険箇所を把握
- ・避難場所や避難ルートを確認しておく

雨が強くなると…

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を 雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動！

注意報

ポイント  
気象情報や外の様子に注意  
非常持出品や避難場所、避難ルートを確認  
災害に備えて、家の外を点検

亀岡市では、平坦地 1 時間雨量 30mm (平坦地以外 3 時間雨量 50mm) の降雨や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合、「大雨注意報」が発表されます。

大雨が降り続けると…

自治体が発する避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難

警報

ポイント  
特別警報が発表されていなくても早め早めの行動を！

亀岡市では、平坦地 1 時間雨量 50mm (平坦地以外 3 時間雨量 80mm) の降雨や重大な土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合、「大雨警報」が発表されます。

さらに激しい大雨が続くと…

ただちに命を守る行動をとる

非常事態 特別警報

ポイント  
市町村からの避難勧告等に従い 直ちに避難場所へ避難！  
外出が危険なときは、家中の少しでも安全な場所へ移動

ポイント  
冷静な判断が大切です 周囲の状況に応じた行動を！  
浸水の中の避難は非常に危険！

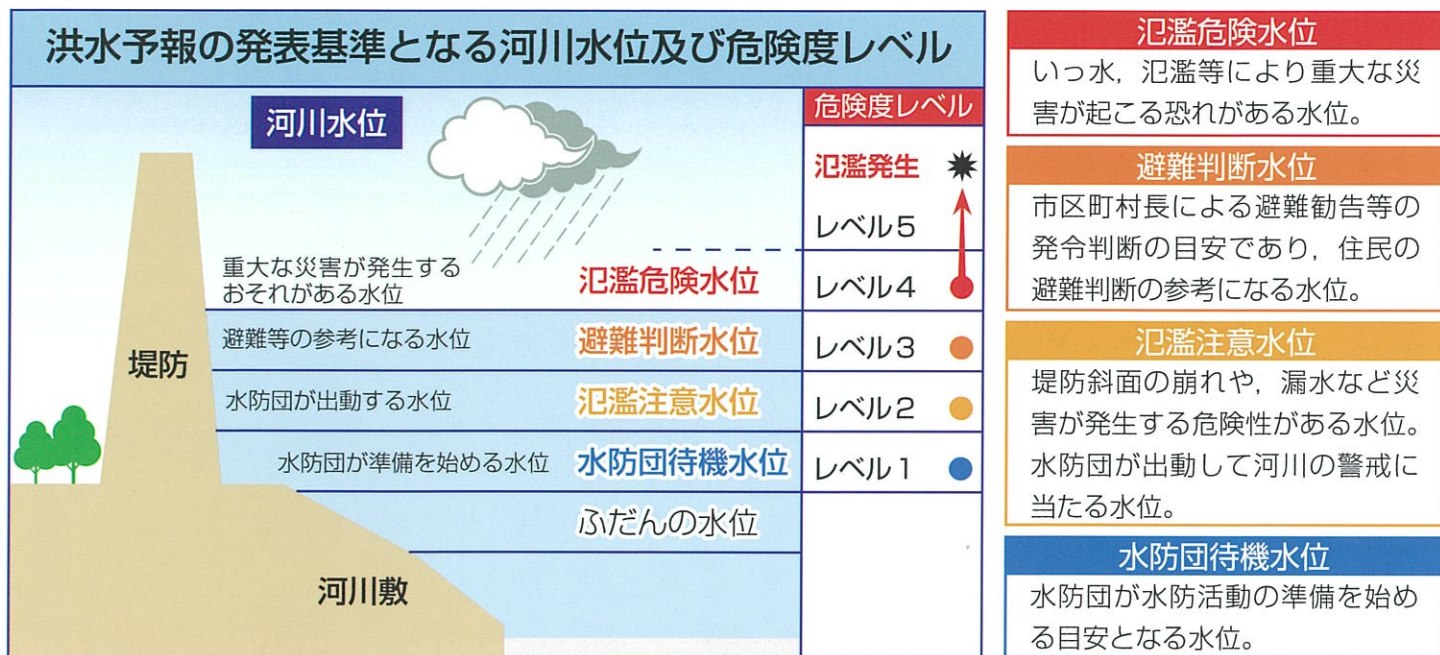
「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況か否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が必要です。災害から身を守ることができる行動を考えておきましょう。

- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

# 河川水位情報

## 洪水予報

流域が大きく、洪水により大きな被害を生じるおそれがある河川（洪水予報河川）に対して、国や京都府と気象庁が共同して洪水の予報を発表します。（対象河川：桂川）

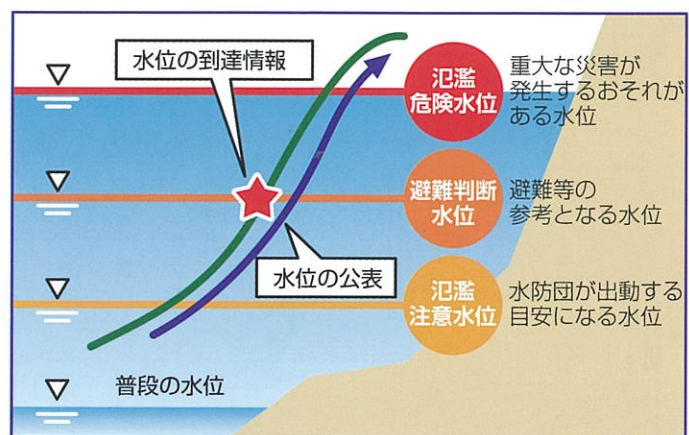


## 洪水予報の種類

発表の種類	発表の基準
〇〇川氾濫発生情報	洪水予報区間内で、氾濫が発生したとき。
〇〇川氾濫危険情報	基準点（特定の水位観測所の設置箇所をいう。以下同じ。）の水位が、氾濫危険水位に達したとき。（避難指示の発令判断の目安）
〇〇川氾濫警戒情報	基準点の水位が、一定時間後に氾濫危険水位に到達することが見込まれるとき、あるいは避難判断水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき。（避難勧告の発令判断の目安）
〇〇川氾濫注意情報	基準点の水位が、氾濫注意水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき。（避難準備情報の発令判断の目安）

## 避難判断水位到達情報

流域が小さく、洪水予報を行う時間的余裕がない河川でも、氾濫によって被害が発生すると予想されている河川は、規定の水位に達した場合、京都府が避難等の参考になる情報として水位の情報を周知します。（対象河川：桂川）



# 都市型水害

近年、都市化と局地的な集中豪雨の増加によって河川や下水道から流れ出た水が地下へと流入し、被害が拡大する「都市型水害」の発生が増加しています。亀岡市でも、平成25年台風第18号災害により、地下道等への浸水が発生しました。



## 都市型水災から身を守るために

市街地には、地下通路のほか、地下駐車場などがあります。地下浸水の危険性をあらかじめ確認しておきましょう。

### 1 地下空間では外の様子が分からない

- 地下階への浸水が予想される場合は、早めに避難する。

### 2 浸水が始まると脱出が困難に！

- 地上が冠水すると、一気に水が流れ込んで来て脱出が困難になる。
- 出入口だけでなく、換気口、採光窓などからも水が入ってくる可能性がある。
- 建物に備え付けられた止水板や土のう、または身近な材料を使って、建物への浸水を防止する。

### 3 浸水した地下空間ではエレベーターは使えません

- 浸水するとエレベーターが停止したり、エレベーター内に急激に水が入ってくる場合がある。地下浸水が予想される場合はエレベーターの使用を避ける。
- 浸水すると停電する。
- 地下で停電すると真っ暗になるので、落ち着いて避難する。

### 4 浸水した地下空間では水圧でドアが開きません

- 出入口ドアの外側で浸水している場合、水圧でドアが開かないことがある。常に非常口の確認を。
- 浸水や漏電による防火シャッターの誤作動で避難経路が遮断されることがあるので、複数の避難経路を確認しておく。
- 避難経路の確保のため、原則として、ドアの開放方向に土のうを置かない。

# 土砂災害を知る

## 土砂災害の基礎知識

近年、大雨や台風によって日本各地で土砂災害が発生し、多くの犠牲者が出ています。市域の約7割が山林である亀岡市においても、大雨が降る度にどこかで土砂災害が発生しています。山間部や市街地周辺部にお住まいの方は、周りの環境をもう一度見直して、土砂災害の危険性について考えてみてください。

## 土砂災害の種類

土砂災害には、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の3種類があります。甚大な被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特性と発生の兆候を知ることが重要です。

### がけ崩れ

大雨などをきっかけに、地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。斜面の崩壊は突然起こりスピードも速いため、人家の近くでがけ崩れが起きると、逃げ遅れる人も多く、人的被害の出やすい災害です。



### 前兆現象



斜面（がけ）から小石がパラパラと落ちてくる



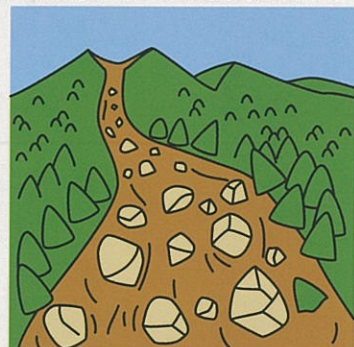
斜面（がけ）から急に水がわき出したり、わき水が濁る



斜面（がけ）に割れ目ができる

### 土石流

大雨などをきっかけに、谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下ることを「土石流」といいます。一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅する恐ろしさから、山津波とも呼ばれている災害です。



### 前兆現象



川が濁り、流木が一気に流れる



山鳴りがする



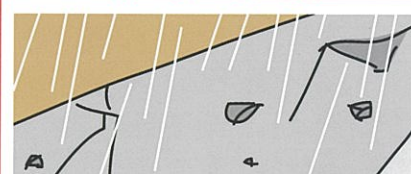
雨は降り続けているが、流れる水が減ってくる

### 地すべり

雨や地下水などをきっかけに、山すそや丘陵地などの斜面などで、地中のすべりやすい地層を境に地面がそっくり動き出すことを「地すべり」といいます。その発生規模は広範囲にわたり、人家や田畑が崩壊してしまうこともあります。



### 前兆現象



地面にひび割れができる



斜面の所々から急に水がわき出す



井戸水が濁ったり、池や沼の水が急に減ったり増えたりする

## こんな土地が危険

山間部に限らず、都市近郊にある丘陵地や急傾斜地を開発してできた土地も、土砂災害の起こりやすい場所です。

### 造成地

造成によって、地質や地形が不安定になるため、雨で地盤が緩むと崩れる危険がある。



### 扇状地

山間部の豪雨で土石流が発生し、渓流を通して麓の扇状地を直撃する危険がある。



### 山岳地帯

傾斜30度以上、高さ5m以上の急傾斜地は、雨でがけ崩れを起こしやすい。また、樹木が少ない山では土石流にも注意。



## 土砂災害警戒区域

### 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とは？

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

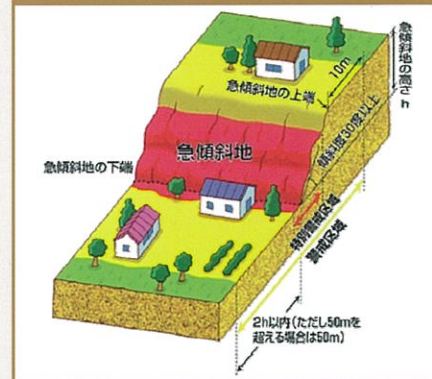
（イラスト中の黄色の部分土砂災害警戒区域となります）

### 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）とは？

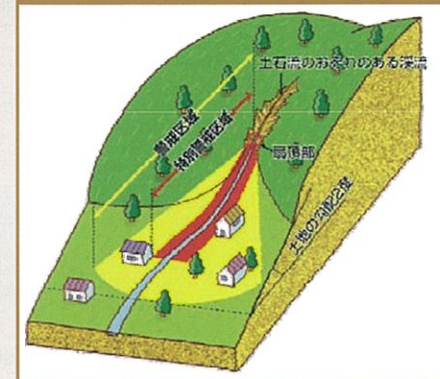
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められた区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

（イラスト中の赤色の部分が土砂災害特別警戒区域となります。）

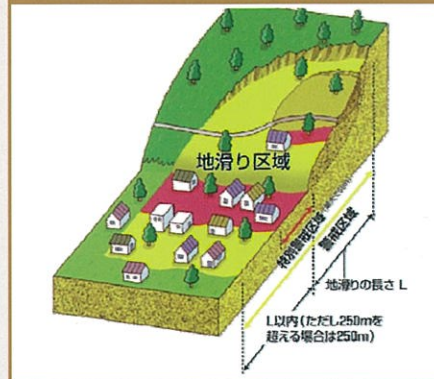
### がけ（急傾斜地）



### 土石流のおそれのある渓流



### 地すべり区域



山裾やがけ地に近い場所にお住まいの方は、京都府のホームページ等で土砂災害警戒区域の中に住居があるのかを確認してください。

京都府ホームページ「土砂災害警戒区域等に関する「区域指定」及び「基礎調査結果」の情報」

(<http://www.pref.kyoto.jp/dosyashitei/>)

### 警戒区域では…

警戒避難体制の整備：土砂災害から住民の生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるよう、警戒避難体制の整備が図られます。



土砂災害ハザードマップの作成・配布

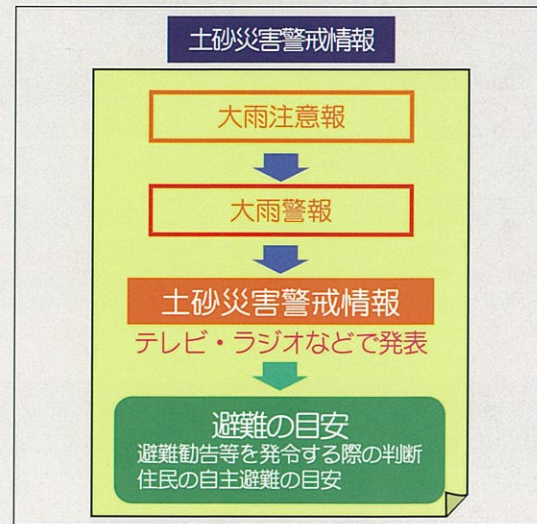


土砂災害ハザードマップの確認状況

# 土砂災害警戒情報

大雨警戒発表中に土砂災害の危険度がさらに高くなった場合、災害対応を適切に行なえるよう、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や、住民の自主避難の判断の参考として利用することを目的に発表される防災気象情報です。

## 発表の範囲と基準



### 対象範囲

亀岡市では、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時に行政単位で発表されます。

### 発表基準

土砂災害警戒情報の発表及び解除は、それぞれ次の項目に該当する場合に京都府と京都地方気象台が協議して発表を行います。

発表：大雨警戒発表中に、土壤雨量指数（降った雨が土壌の中にどれだけ貯まっているかを指数化した値）が一定の基準に達した場合。

解除：土壤雨量指数が一定の基準を下回り、かつ短時間で再び発表基準を超過しないと予測される場合や無降水状態が長時間継続している場合。

市町村ごとに発表されます。

### 京都府土砂災害警戒情報 第×号

平成△△年△月△日 △時△分  
京都府 京都地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】  
福知山市三和町 南丹市美山町\* 南丹市園部町\* 南丹市日吉町\* 京丹波町旧丹波町  
京丹波町旧福徳町 京丹波町旧和知町

【警戒解除地域】  
福知山市旧福知山市域

\*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】  
<概況>  
大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。  
<とるべき措置>  
土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される情報に注意してください。  
【京都府土砂災害警戒情報システムで提供する詳細情報も確認してください。】



地図上に警戒対象となる市町村を示します。

問い合わせ先  
075-414-5318 (京都府砂防課)  
075-841-3008 (京都地方気象台)

住民の方のとりべき措置を記載しています。

## お住まいの地域に土砂災害警戒情報の発表や避難情報の発令があれば…

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)にお住まいの方は  
指定緊急避難場所や近くの頑丈な建物の2階以上に直ちに避難して下さい。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)にお住まいの方は  
指定緊急避難場所や近くの頑丈な建物の2階以上に避難する、もしくは、自宅の山の反対側にある2階以上の部屋に移動しましょう。

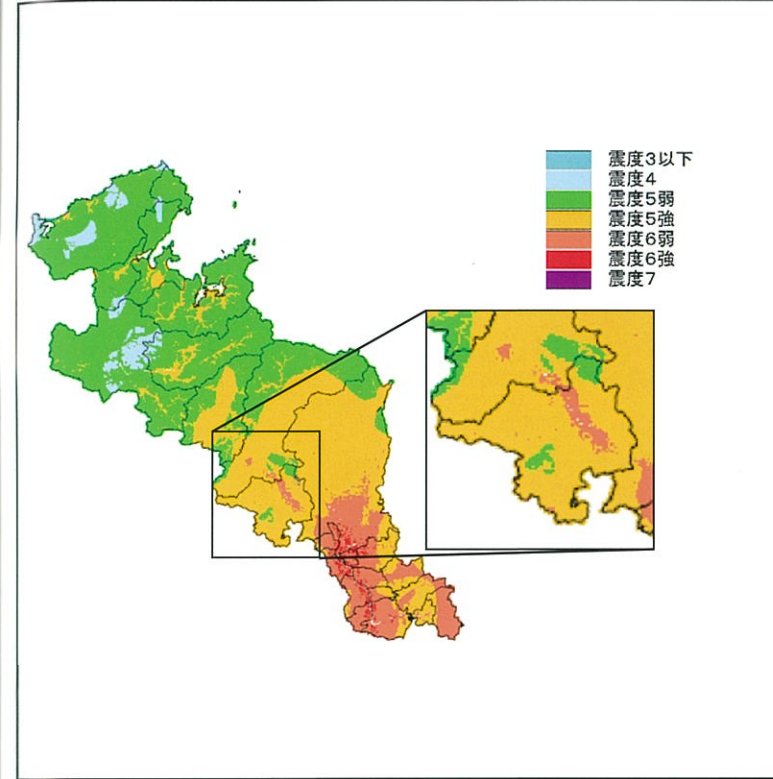
\* 土砂災害警戒区域外にお住まいの方も、万が一、土砂等が流れ込む可能性がありますので、雨の降り方に注意してください。

\*この用紙は、気象庁ホームページでご覧いただけます。

**土砂災害警戒情報はテレビやインターネットなどで確認しましょう！**  
(亀岡市ホームページのほか、気象庁や京都府のホームページでもご覧いただけます。)

# 地震情報

## 南海トラフ地震 被害想定



南海トラフ地震は、今世紀前半にも発生する確率が60%～70%とされています。京都府が実施した地震被害予想では、南海トラフ地震が発生した場合、亀岡市では震度6弱で揺れることが予想されていますので、十分な備えが必要です。

### [震度6弱]

- ・立っていることが困難になる
- ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。また、ドアが開かなくなることがある。
- ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ・耐震性の低い木造建築は、壁が落下したり建物が傾いたりすることがある。また、倒れるものもある。

## 地震が発生したときはこうしよう！

まずは落ち着いて行動	● 身の安全を確保する！（机の下などに身を隠す・頭を守る・非常脱出口の確保）
あわてずに火災を防ぐ	● 火を止める！消火！（使用中のストーブ等の火を消す・火が出たらまず消火を）
ここには近寄らない	● 狭い路地、壁ぎわ、崖、川べりは危険！これらの場所からは遠ざかりましょう
避難のテクニック	● 避難するときは必ず徒歩で、携帯品は必要品のみにして背負うようにしましょう
正しい情報の入手を	● 市役所・消防・警察・ラジオなどの情報に注意してデマに惑わされないようにしましょう

## 災害時の安否確認方法を知っておこう！

§ 災害用伝言板 「NTT災害伝言ダイヤル」の使い方

§ 音声案内にしたがって操作します。

◎ 伝言を登録する場合 ▶171 ⇒ 1 ⇒ 0771-xxxx(被災者の電話番号)

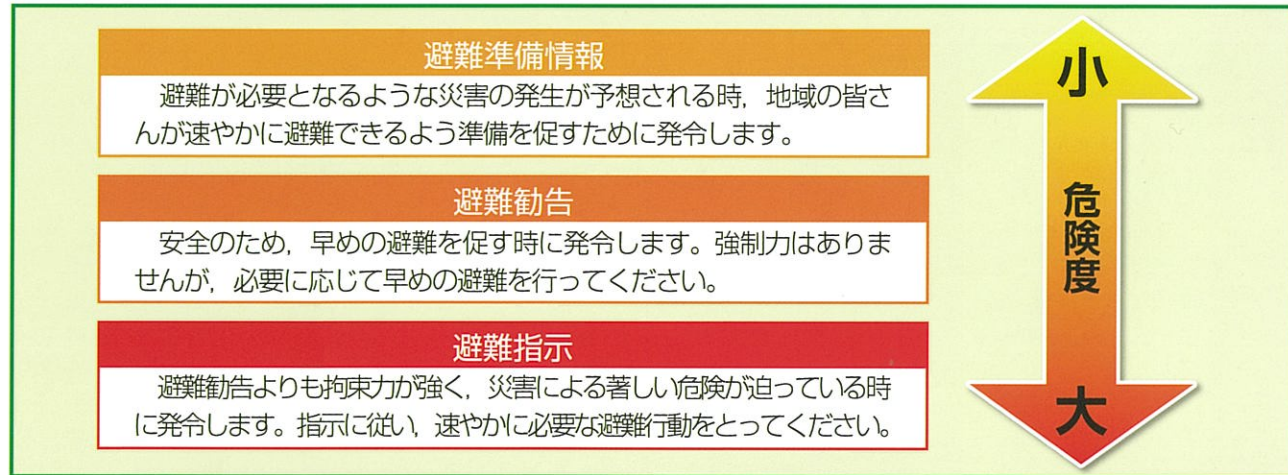
◎ 伝言を聞く場合 ▶171 ⇒ 2 ⇒ 0771-xxxx(被災者の電話番号)

# 避難する

## 避難情報の伝達

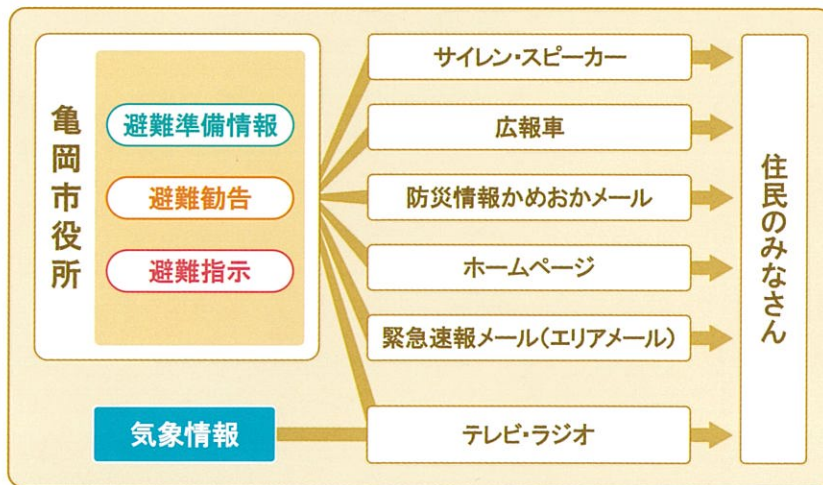
### 避難情報の種類

風水害や土砂災害により、被害の発生が予想される場合、亀岡市から避難情報（避難勧告等）を発令し、住民のみなさんに避難を呼びかけます。亀岡市からお知らせする避難情報には、「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」の3種類があります。



### 避難勧告等の伝達経路

避難勧告、避難指示は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



### 防災情報かめおかメール

土砂災害・地震・気象・避難情報などの災害に関する情報をメールでお知らせします。  
※登録料・情報料は無料ですが、登録・情報受信に係る通信料は自己負担となります。

**【登録方法】**

- ①「kame@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください。右上のQRコードから登録用サイトに送信することもできます。
- ②「mailjohou@city.kameoka.kyoto.jp」から返信されるメールの内容にしたがって、登録用画面に進んでください。
- ③利用規約を確認後、同意の場合は「同意する」ボタンを押してください。
- ④受信したい情報にチェックをいれてください。
- ⑤内容を確認後、「登録」ボタンを押してください。

### 避難時の心得

- 1 あらかじめ、安全な避難路を確認しておきましょう
- 2 避難時の荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう
- 3 ラジオ・テレビで最新の気象情報などに注意しましょう
- 4 避難する前に、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう
- 5 避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう
- 6 近所のお年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう
- 7 万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう

## 避難時の注意点



### 洪水時の避難

洪水が発生する危険が迫っている時には、予想される浸水の深さによって、取るべき行動が異なります。お住まいの地域の予想される浸水の深さは、亀岡市洪水ハザードマップで確認してください。（亀岡市洪水ハザードマップは、インターネット「亀岡市/安全・安心防災情報」からご覧いただけます。）

●雨が強く降る前や暗くなる前であれば、安全な避難場所に避難することが重要です。

持出品は最小限にし、動きやすい服装で。長靴ではなく、運動靴を履きましょう。



避難時には火元を点検しましょう。電気のブレーカーを切り、戸締りをしましょう。



車での移動は避け、徒歩で避難しましょう。（マフラーに水が入り、動けなくなります。）



避難するときは長い棒などでマンホールや側溝等を確認しながら歩きましょう。



避難するときは、高齢者や体の不自由な方に積極的に協力しましょう。



●浸水が始まっている場合など、避難場所への避難に危険を感じた場合は、自宅の2階や近所の2階建て以上の建物に一時的に避難してください。



### 被害発生後の安全点検

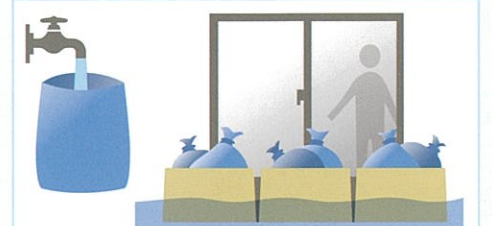
災害発生後の後片付けは、地域で協力し、安全に作業を進めましょう。

- 家屋や建物は、すみずみまで念入りに消毒しましょう。
- 落下や倒壊の危険があれば、すぐに補強や除去を行いましょ。
- 家の中は風通しをよくして乾燥させましょう。
- 断線した電線が家屋に触れていたら、感電しないよう棒等で安全な場所へ移しましょう。
- 復旧活動時のケガ防止に、ヘルメット等を着用し、肌の露出を避けた服装を心がけましょう。
- 水道水の煮沸と手の消毒を行い、衛生面に注意しましょう。

### 身近なもので浸水対策

身近な材料を使って、浸水を防ぐことができます。日ごろから、浸水に備えましょう。

#### 水を入れた袋+ダンボール箱



#### 長めの板+土のう

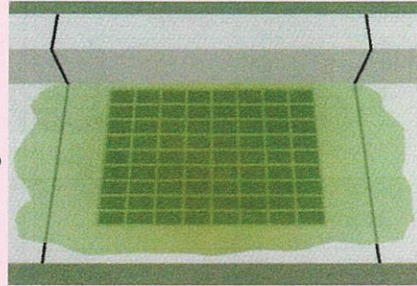


# 情報を入手する

## よくあるお困りごと Q & A

Q 1 近くの**雨水ます**がつまっています。  
どこに連絡すればよいですか？

A 1 「**土木建築部土木管理課**」へご連絡下さい。  
TEL 0771-25-5043  
FAX 0771-23-5000



土木建築部土木管理課が原因を調査し、清掃などの必要な対応を行います。

Q 2 大雨時に木が倒れて  
**道路が通れません。**  
どこに連絡すればよいですか？

A 2 「**土木建築部土木管理課**」へご連絡下さい。  
TEL 0771-25-5043  
FAX 0771-23-5000



倒木や土砂の撤去などの応急復旧を行います。

Q 3 自宅が**浸水**しました。  
**被害を受けたことの証明**は  
してもらえますか？

A 3 **自治防災課**（**亀岡市役所 6階 2番窓口**）で  
**「り災証明書」**を発行しています。

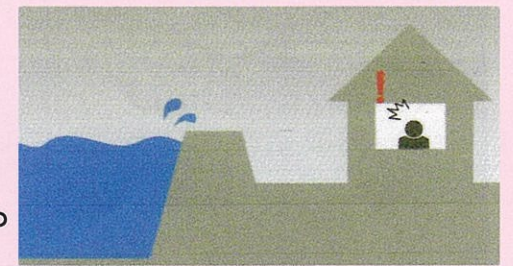


「り災証明書」は被害の程度を証明するものであり、保険金の請求や各種支援措置の申請などの際に提出を求められることがあります。

浸水などの「り災証明書」は自治防災課（**亀岡市役所 6階 2番窓口**）で発行していますが、火災の「り災証明書」は消防署で発行しています。

Q 4 大雨で**自宅が浸水**しそうです。  
**どこに避難**すればよいですか？

A 4 最寄りの**避難場所**へ避難してください。



避難場所は、災害の種類によって異なります。

事前に最寄りの浸水時の避難場所を確認しておきましょう。

亀岡市 / 安全・安心 防災情報

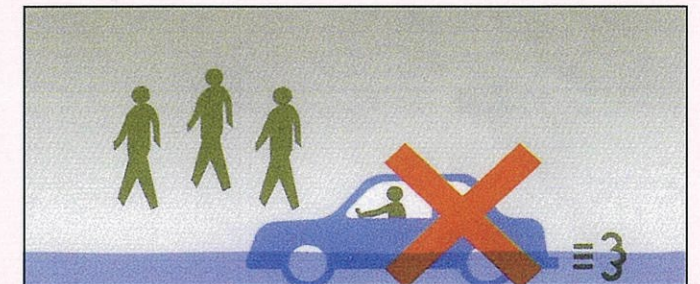
[www.city.kameoka.kyoto.jp/anzen/](http://www.city.kameoka.kyoto.jp/anzen/) をクリック

次に「防災」の「避難所」をクリックする。

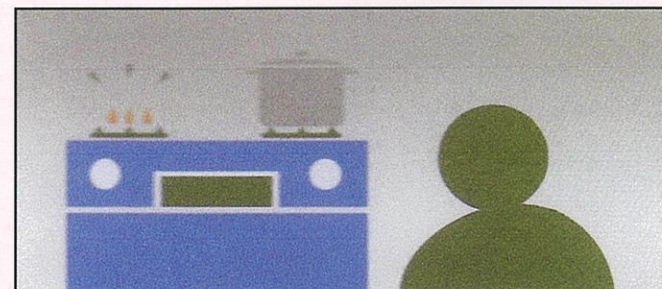
### ● 避難時の注意点



- ・持出品は最小限！
- ・動きやすい服装！



- ・車での避難は避け、徒歩で避難！  
（マフラーに水が入り動けなくなります）



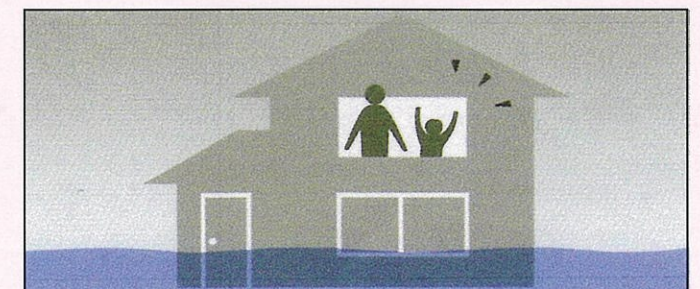
- ・火元を点検！
- ・戸締りをしっかり！



- ・足元を注意！  
（濁った水で足元が見えません）



- ・高齢者や体の不自由な方へ協力！



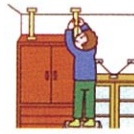
- ・浸水が深いときは2階へ一時避難！  
（浸水が深いと足をとられて歩けません）

## まずは、安全・安心の防災チェックリストで対策を!

### 5つのチェック

#### 地震対策チェック

- 家具の転倒防止策を行っている。
- 照明器具の落下防止をしている。
- ガラスに飛散防止フィルムを張っている。
- 寝室に転倒しやすい家具を置いていない。
- 耐震診断を行ったことがある。



#### 風水害対策チェック

- 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていない。
- 屋根の点検、補修をしている。アンテナはしっかり固定している。
- 気象情報を日頃からよく聞いている。
- 台風など気象の変化がある時は、外出を差し控えている。

#### 火災対策チェック

- 料理や焚き火などで火を使うときは目を離さない。
- 家の周りに燃えやすいものを置かないようにしている。
- 消火器の使い方を知っている。
- 住宅用火災警報器を設置している。
- 地域で行われる防災訓練に参加したことがある。

#### 総合対策チェック

- 防災について家族で話し合いをしている。
- 避難所までのルートを家族で決めている
- 家族が離れ離れになったときの連絡方法を確認している。
- 地域の自主防災組織の活動に参加したことがある。
- 非常持ち出し品を用意している。

#### 非常持ち出し品

- 携帯ラジオ (FMつきがよい。予備電池)
- 照明器具 (懐中電灯、予備電池、ローソク、ライター、マッチなど)
- 飲料水 (一人一日3リットル)
- 非常食 (乾パン、レトルト食品、ビスケット、缶詰、チョコレートなど)
- 道具類 (缶切り、栓抜き、ナイフ、割箸、ロープ、ビニールシートなど)
- 携帯コンロ、ボンベ
- 救急・衛生用品 (薬、消毒液、傷ぐすり、ばんそうこう、石鹸、生理用品、包帯など)
- 衣類 (下着家族分、セーター、ジャンパー、軍手、雨具など)
- 寝袋、タオル、ティッシュ
- 運動靴 (室内用)
- ゴミ袋
- ヘルメット (頭を保護できるもの)
- リュックサック
- 筆記用具
- 貴重品 (預金通帳、保険証、身分証明証、実印、連絡カード)
- 乳幼児 (哺乳瓶、粉ミルク、オムツ、ベビーフード)

→定期的にチェックしましょう。

### 私たちが避難する避難施設



- 西つつじヶ丘ふれあいセンター  
西つつじヶ丘大山台1-12-13  
23-2444



- つつじヶ丘小学校体育館  
西つつじヶ丘霧島台1-1  
23-7877



- 東輝中学校体育館  
篠町広田3-28-1  
24-3418

### 緊急時の通報先

- 警察 110番  
    亀岡警察署 24-0110  
    つつじヶ丘交番 23-0647
- 消防・救急 119番  
    亀岡消防署 22-0119  
    亀岡消防署東分署 23-0119
- 亀岡市上下水道部 23-9311
- 関西電力 22-0149
- 丸亀ガス 23-8211
- 亀岡市役所 (代)22-3131
- 京都府南丹広域振興局 22-0422

★土砂災害警戒区域等の情報については、平成28年に亀岡市から配布された「亀岡市土砂災害ハザードマップ」をご参照ください。